

放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス いろは第一単位		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 1日 ~ 令和6年 11月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 1日 ~ 令和6年 11月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>●楽しい時間の中でのびのびと過ごせる環境</p> <p>土曜日、長期休暇は外出する機会を設け、室内のみならず、外部でも楽しく過ごせる環境を整えている。</p>	<p>お子様のご要望を伺ったり、「連れて行ってみたいけど、楽しめるか心配」「就労に活かせる取り組みを行って欲しい」等の親御様のニーズも組み入れて、行き先を決めています。</p>	<p>お子様の成長を感じた時や新たな一面を発見した時等は親御様へ共有し、関係機関での活動や就労移行へ繋げていく。</p>
2	<p>●様々な視点からの個別支援対応</p> <p>月に1度、事例検討会を開き、個々の特性に応じた対応方法を、他施設を交えて話し合っている。</p>	<p>事例検討会で話し合った内容を、実践しお子様にとってより良い支援を探求している。</p>	<p>引き続き、他施設職員の意見も取り入れ、様々な職員の意見を参考に、お子様のケースに合わせた対応や支援を行っていく。</p>
3	<p>●個人の強みを活かした活動</p> <p>お手伝いを率先して取り組むお子様や、指先が器用なお子様が多い為、洗い物やお掃除や製作活動等(1000ピースパズル、アイロンピース、編み物、エコバック作り)を行い、個々の強みを活かした活動を行っている。</p>	<p>お手伝いを好むお子様や指先が器用なお子様は活動に取り組む中で、周囲を巻き込み、苦手意識を持っているお子様にも興味を示せるような声掛けや取り組みを行っている。</p>	<p>お子様や親御様のニーズを取り入れ、お子様の強みが発揮できる活動を引き続き、取り入れていく。</p>
4	<p>●相談しやすい環境</p> <p>保護者交流会や参観を開催することで何気ない相談事も相談しやすい環境づくりを心がけている。また、送迎時等でもお子様の様子をお伝えしたり保護者様との関りを大切にしている。</p>	<p>毎年行っている保護者交流会や参観では、保護者様アンケートをもとにニーズを伺ったり、今後の保護者参観の内容に取り入れている。</p>	<p>今後も引き続き、保護者交流会や保護者参観を行い、事業所の雰囲気やお子様の様子や職員との関係性を親御様に把握していただき、安心感へと繋げていく。</p>
	<p>事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<p>●年齢層に応じた集団活等の提供</p>	<p>お子様の年齢が幅広い為、日常生活スキルや保護者様のご要望も年齢により異なる。その為、年齢層に合った集団活動の設定が難しい。</p>	<p>各職員が個々の日常スキルや親御様のご要望を把握し、同じ活動の中でも参加方法を工夫し、年齢層に応じた活動の提供を考慮していく。</p>
2	<p>●階段や段差がある</p>	<p>建物の構造上、どうしても階段や段差は否めない。歩行に補助が必要なお子様は危険が生じる可能性がある。</p>	<p>段差や階段を歩行する際は必ず職員が付き添う。また、リフォームやDIY等で改善できる所は可能な限り、改善していく。</p>
3	<p>●活動スペースの狭さ</p>	<p>法令に遵守したスペースが確保されているが、体の大きなお子様が利用されている為、活動スペースが狭くなっている。</p>	<p>机の配置換えや、公園や施設内のロータリーを活用し、活動スペースを確保していく。</p>